

麻機遊水地保全活用推進協議会

第9回専門委員会

日時：2024年3月12日（火）13:30～15:30

場所：静岡総合庁舎 7階 第7会議室

<議事次第>

1. 開会

2. 報告事項

- (1) 第16回総会、第15回合同部会の議事概要について（資料1）
- (2) 令和5年度協議会決算見込み（資料2）
- (3) 令和6年度協議会予算（案）（資料3）
- (4) 麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について（案）（資料4）
- (5) 令和5年度取組み報告および令和6年度取組み計画（案）（資料5）
- (6) 令和5年度麻機遊水地生物調査結果について（別紙）
 - (ア) 植生調査
 - (イ) 鳥類調査
- (7) 麻機遊水地生きもの図鑑の印刷発行について（資料6）
- (8) 民間企業・団体との連携について（資料7）
- (9) 令和6年度の遊水地フェスタについて（資料8）
- (10) 協議会調査データの公表について（資料9）
- (11) 麻機遊水地保全活用行動計画第3期計画について（資料10）

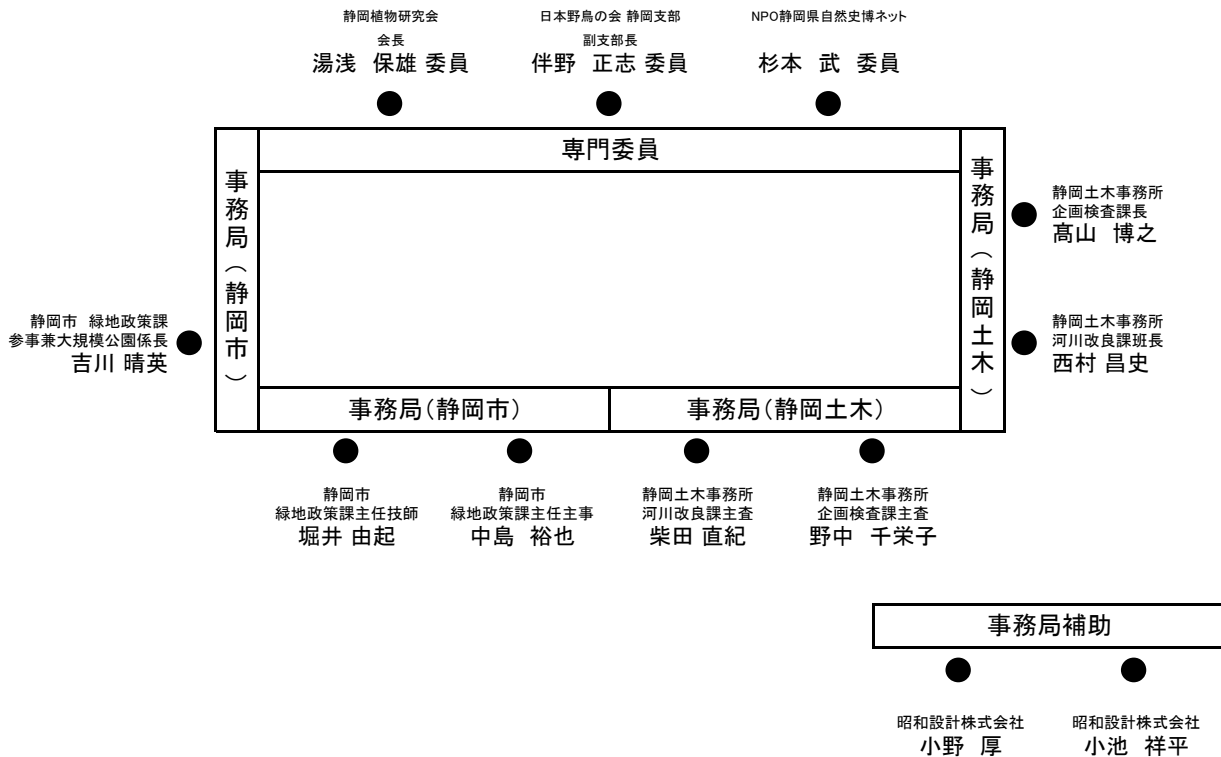
3. その他

- (1) 麻機遊水地第1工区「あさはた緑地交流広場」より（資料11）

4. 質疑応答

5. 閉会

麻機遊水地保全活用推進協議会 第9回専門委員会 座席表



麻機遊水地保全活用推進協議会学識経験者に関する要領

(目的)

第1条 この要領は、麻機遊水地保全活用推進協議会（以下「協議会」という。）に属する学識経験者について、必要な事項を定めるものとする。

(学識経験者)

第2条 この要領において、学識経験者は次に掲げる者をいう。

- (1) 麻機遊水地保全活用推進協議会規約（以下「規約」という。）別表2に掲げる者。
- (2) 前号に掲げる者のほか、規約別表1に掲げる者の内、規約別表2に掲げる者と同等の専門的な知識を有すると協議会が認める者。

(職務内容)

第3条 学識経験者は、総会又は専門委員会に出席し、技術的及び学術的知見から助言、提言を行う。

(報酬等)

第4条 協議会は、学識経験者が前条に掲げる職務を遂行したときは、予算の範囲内で報酬及び旅費を支払うものとする。

- 2 前項における報酬及び旅費の額は、静岡市特別職の職員で非常勤のものに対する報酬及び費用弁償に関する条例（平成15年静岡市条例第44条）別表「法令又は条例の規定による委員等（この表において別に定めるものを除く。）」に定める額を準用する。

(その他)

第5条 この要領に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

(附則)

この要領は、平成28年9月20日から施行する。

麻機遊水地保全活用推進協議会
第 16 回総会・第 15 回合同部会 議事概要

第 16 回総会 議事概要

1. 開催日 令和 5 年 11 月 17 日（金） 19：00～20：30

2. 場所 静岡もくせい会館 1 階 富士ホール

3. 議事次第

(1) 開会

(2) 報告事項

報告 1 第 13 回合同部会、第 15 回総会、第 14 回合同部会議事概要

報告 2 令和 4 年度取り組み報告

報告 3 麻機遊水地保全活用行動計画 第 3 期実施計画について

(3) 議事事項

議事 1 令和 4 年度決算報告（案）

議事 2 監事の選任について

議事 3 令和 5 年度予算補正（案）

議事 4 麻機遊水地保全活用推進協議会規約及び麻機遊水地保全活用推進活動費補助金交付要綱の一部改正について

議事 5 環境省自然共生サイトへの認定とマッチングの試行への申請について

議事 6 麻機遊水地生きもの図鑑について

(4) その他

①第 8 回遊水地フェスタ実施報告

②麻機遊水地の堤防舗装と伐採について

(5) 閉会

4. 開催写真



5. 参加者

■総会委員、顧問(22/25名)

No	区分	所属	氏名	出欠	
1	会長	東海大学名誉教授	田中 博通	○	
2	学識経験者	静岡植物研究会会長	湯浅 保雄	○	
3		日本野鳥の会静岡支部 副支部長	伴野 正志	○	
4		静岡大学教育学部准教授	加藤 英明	欠	
5		NPO 静岡県自然史博ネット	杉本 武	○	
6		国立環境研究気候変動適応センター 副センター長	西廣 淳	○	
7		東海大学海洋科学博物館・自然史博物館 学芸員	太田 勇太	欠	
8		地域代表	竜南学区自治会連合会 会長	角 隆弘	欠
9	千代田学区自治会連合会 会長		齋藤 健次	○	
10	麻機学区自治会連合会 会長		杉浦 徹	○	
11	流通センター地区代表		伊藤 哲	○	
12	各部会長・ 副部会長	自然再生部会 麻機湿原を保全する会 会長	後藤 昌徳	○	
13		地域活性化部会	麻機ウェットランドクラブ・麻機村塾	石上 恭平	○
14			協同組合静岡流通センター	上川 雄司	○
15		ベーター麻機部会	あさはた緑地公園愛護会	剣持 邦昭	○
16			ベーター麻機部会長	竹下 博実	○
17			ベーター麻機副部長	高橋 邦男	○
18	行政	静岡県	河川海岸整備課長	杉山 一仁	○
19			静岡土木事務所長	戸栗 一泰	○
20			健康福祉部政策管理局 企画政策課長	村松 聡	○
21			静岡市	環境局環境共生課長	石塚 浩史
22		保健福祉長寿局健康福祉部 障害福祉企画課 課長補佐		宮原 和寿	○
23		都市局都市計画部 公園整備課長		杉山 晋	○
24		建設局土木部河川課 課長補佐		長井 隆	○
25		顧問	静岡市副市長	本田 武志	○

■事務局(9名)

No	所属	氏名	
1	静岡県静岡土木事務所	岡本 修幾	
2		河川改良課	西村 昌史
3			柴田 直紀
4			高山 博之
5		企画検査課	野中 千栄子
6	静岡市都市局都市計画部	—	
7		緑地政策課	杉村 則久
8			塩澤 友宏
9			吉川 晴英
10			堀井 由紀
		中島 裕也	

■行政(2名)

No	所属	氏名
1	静岡市 環境局 環境共生課	宮川 聡美
2	静岡県 交通基盤部河川砂防局 河川海岸整備課	梶原 大督

■傍聴(9名)

No	区分	所属	氏名
1	団体	麻機ウェットランドクラブ	村田 洋子
2			藤浪 千枝
3		(株)自然回復・静岡カメの会	三根 佳奈子
4		あさはた緑地公園センターハウス	木下 聡
5		環境アセスメントセンター	馬場 美也子
6			鈴木 千代
7			品川 修二
8	団体	静岡流通センター・麻機遊水地柴揚げ漁保存会	濁沢 直也
9		東部生涯学習センター	杉井 円

6. 議事概要

(1) 議事事項

○議事1：令和4年度決算報告（案）

事務局より令和4年度決算報告、監事である静岡県河川海岸整備課長杉山委員より監査報告が行われ、挙手多数により承認された。

○議事2：規約に基づく監事の選任について

事務局より、千代田学区自治会連合会会長斎藤委員、静岡土木事務所長戸栗委員を監事に推薦し、挙手多数により承認された。

○議事3：令和5年度予算補正（案）

補助金制度の運用に伴い補正予算（案）を提示し、挙手多数により承認された。

○議事4：麻機遊水地保全活用推進協議会規約及び麻機遊水地保全活用推進活動費補助金交付要綱の一部改正について

事務局より、静岡市環境局環境創造課長、静岡県健康福祉部政策監について機構改正による組織名の変更に伴った「麻機遊水地保全活用推進協議会規約」の改正、静岡市で押印規定の見直し指針を策定したことから、書類の押印廃止による補助金交付要綱の一部改正を提示し、挙手多数により承認された。

○議事5：環境省自然共生サイトへの認定とマッチングの試行への申請について

事務局より、自然共生サイトへの認定報告と、マッチング試行実験への参加申請を行う説明を行い、挙手多数により承認された。

○議事6：麻機遊水地生きもの図鑑について

事務局より、麻機遊水地生きもの図鑑に関する今後のスケジュール及び、図鑑の位置づけ、価格設定の提示があり、挙手多数により承認された。

(2) その他報告事項

○第8回遊水地フェスタ実施報告

事務局より、遊水地フェスタの収支報告、アンケート結果報告がされた。

○麻機遊水地の堤防舗装と伐採について

事務局より、昨年度と今年度の実施報告、今後の予定の提示がされた。

(3) 意見・質問

<議事4に関する意見・質問>

- ・押印廃止後、確認欄には何を書いたら良いのか。
⇒ 当日参加していただいた方の名前やサイン等を書いてもらい、参加したという確認がとれればよい。(押印でも良い)

<議事5に関する意見・質問>

- ・マッチング試行への申請は、どのような内容で申請すればよいのかわかっているのか。
⇒ 麻機遊水地の魅力や、支援してほしいこと等を書く。

<議事6に関する意見・質問>

- ・協賛額と記載があるが、図鑑には定価というように明示されるのか。
観察会等参加していただいた方に渡すときは、寄付というのか、協賛金というのか、もしくは無償で配っても良いのか。
⇒ 図鑑に金額を記載する予定はない。販売をすると利益に対する税金等かかってくるため、協賛金という形で進めていこうと考えている。
- ・いつ頃完成予定なのか
⇒ 今年度中の印刷発行を目指している。
- ・図鑑の中に少し大きめの地図を入れてほしい。
⇒ 各工区それぞれの地図がつく予定なので、そこで確認してもらいたい。

<第8回遊水地フェスタ実施報告に関する意見・質問>

- ・遊水地フェスタの支出の中に弁当代とあるが、飲食費は予算の中で出してはいけないと言われていたのだが、これは問題ではないのか。
⇒ 企業からの協賛金と、カヌー体験で少しお金をいただいていた中から出しているもので、協議会の予算から出しているものではない。
- ・遊水地フェスタが終わった数日後にゴルフの打ちっぱなしをしている人がいた。非常に危ないので、何か管理できるようにしてもらいたい。

第 15 回合同部会 議事概要

1. 開催日

令和 6 年 2 月 20 日 (火) 19 : 00 ~ 20 : 30

2. 場所

葵生涯学習センター (アイセル 21) 3 階 第 31 集会室

3. 議事次第

(1) 開会

(2) 報告事項

- ① 第 14 回合同部会、第 16 回総会議事概要について
- ② 令和 5 協議会決算見込み
- ③ 令和 6 年度協議会予算 (案)
- ④ 令和 5 年度取組み報告および令和 6 年度取組み計画 (案)
- ⑤ 民間企業・団体との連携について
- ⑥ 麻機遊水地保全活用行動計画 第 3 期計画について
- ⑦ 麻機遊水地生きもの図鑑の発行について
- ⑧ 麻機遊水地の植生について
- ⑨ 協議会生物調査データの公開について
- ⑩ 令和 6 年度の遊水地フェスタについて
- ⑪ 麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について (案)

(3) その他

- ① 第 1 工区「あさはた緑地交流広場」近況報告

(4) 質疑応答・意見交換

(5) 閉会

4. 開催写真



5. 参加者

(1) 協議会員

NO	団体/個人	団体名	参加者名
1	団体	麻機湿原を保全する会	後藤 昌徳
2		麻機ウェットランドクラブ・麻機村塾	石上 恭平
3		麻機ウェットランドクラブ	松浦 孝
4		麻機ウェットランドクラブ	村田 洋子
5		東部生涯学習センター	杉井 円
6		協同組合静岡流通センター	上川 雄司
7		あさはた緑地公園愛護会	剣持 邦昭
8		協同組合静岡流通センター・麻機遊水地柴揚げ漁保存会	濁澤 直也
9		ベータル麻機部会	竹下 博実
10		(株) ニュージェック	進藤 弘之
11		(株) 古川組	安藤 一整
12		ベータル麻機部会安東川ネットワーク	杉山 明
13		静岡市立観山中学校	石上 崇
14		あさはた緑地公園センターハウス (一般社団法人グリーンパークあさはた)	村松 可菜

(2) 事務局

NO		所属	参加者名
1	静岡県	交通基盤部静岡土木事務所企画検査課	野中 千栄子
2		交通基盤部静岡土木事務所河川改良課	岡村 修幾
3			西村 昌史
4			柴田 直紀
5	静岡市	都市局都市計画部	杉村 則久
6		都市局都市計画部緑地政策課	吉川 晴英
7			堀井 由紀
8			中島 裕也

6. 議事概要

6.1 報告事項についての意見・回答

<協議会予算の内訳について>

- ・第 1 工区の手ス池の除草を地元で行っているが、慣れない作業や自治会員の高齢化で苦勞している。協議会予算から除草費を出せないか。
- ⇒固定費を除く予算が少なく難しい。予算を運用していく中で余剰金が発生した場合には柔軟に対応したいと考えている。
- ・そのような対応をぜひお願いしたい。

<生きもの図鑑について>

- ・生きもの図鑑を自然観察会などで販売できるとたくさんの人に見て貰えて効果的だと思う。そのような運用は考えているか。
- ⇒具体的な提供方法はまだ決まっていないが、そのような方法も考えていきたい。また販売ではなく、寄付に対する返礼品として提供するような運用を考えている。

- ・生きもの図鑑はどうやったら入手できるか。
- ⇒金額設定は 800 円で確定したが、入手方法については検討中である。決まり次第、皆様にお知らせをしていく。

- ・生きもの図鑑は何部印刷予定か。
- ⇒2000 部印刷予定である。
- ・静岡流通センターとして、200 部の提供をいただきたい。

- ・生きもの図鑑提供に伴う寄付について、税控除などの制度を受けられると助かる。また、そのような制度が整っていると今後も支援が増えると思うが検討してもらえないか。
- ⇒資料 5 で言及した民間企業団体との連携の模索の中で、地元金融機関とも相談し、どのようにしたら民間の方に支援していただきやすいか考えている。寄付に伴う控除などの可能性も含めて検討を進めている。

- ・生きもの図鑑の 1 部あたりの設定金額を 800 円としているが、印刷部数を増やせば 500 円程度で提供できるのではないか。
- ⇒一度の印刷部数によって単価に違いが出る。今回は、印刷費および運営経費を考慮すると 800 円が良いと考えている。

<民間企業・団体との連携について>

- ・世界銀行（JAICA 日本支部）の方からベーター福祉農園を視察したいという打診があった。視察予定日が荒天だったため実現はしなかったが、その後、行政側で何か聞いていないか。
- ⇒静岡県庁と静岡市河川課へ連絡があったと聞いているが、事務局（静岡土木事務所河川改良課・静岡市緑地政策課）までは詳しい話は来ていない。また確認しておく。
- ・協議会では周辺病院等と連携して福祉の取り組みをしてきた経緯がある。世界銀行のような金融団体などの基金から援助を受けられるようであれば、今の体制をより充実させ、てんかんセンターなども巻き込んで取組みを広げていきたいので、事務局で情報を今後追って、また教えていただきたい。

<遊水地フェスタについて>

- ・今年度の遊水地フェスタでは、野鳥の会の方が実施前に激しく苦情を言ってきて、ボート体験を取りやめる直前までいった経緯があったが、この件に対する来年度の対応はどうするのか。（竹下さん）
- ⇒苦情を言った人は野鳥の会の人ではなかった。苦情はハクチョウへの害を心配した内容だったが、遊水地フェスタでカヌーボート体験を行うことでハクチョウへ悪影響が生じるとは考えていないため、中止としないようにしていきたいと考えている。
- ・重機の試乗体験のクラクションは騒音になっていたと感じたが、音を小さくするなど対応できないか。
- ⇒重機の試乗体験に協力をしてくださっている事業者と相談していく。

6.2 その他の意見・質問

<行政職員による除草作業について>

- ・経費節減のために行政職員が除草作業をしてきている姿を見るが、除草は専門のプロに任せ、行政職員の労力は良い遊水地を作ることに使ってもらいたい。

<第2工区について>

- ・第2工区の整備が完了した後、第2工区で活動する人たちで「第2工区部会」みたいなものを立ち上げる予定はないのか。
- ⇒現状では特に考えていない。活用したいというご相談があれば、対応していきたいと考えている。

<第4工区の水位について>

- ・年始から第4工区の水深が高くなっており、土木事務所に相談をしたが対応が遅かった。麻機遊水地の中でもレッドリストのランクが高く、葉っぱ（ロゼット）で冬越しをするホソバニガナ（環境省：絶滅危惧ⅠB類（EN）、静岡県：絶滅危惧ⅡB類（VU））が水没して、姿を消してしまった。過去の事例から想定するに排水樋管にごみが詰まっていると考えられるので、今後は早急に対応していただきたい。

<事務局より>

第3期行動計画について、みなさまへのヒアリングや調書をもとに作成しているが、記載間違いや追記したい活動などあれば、事務局に相談していただきたい。

令和5年度歳入歳出決算見込み(R6.3.12時点)

(歳入の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和5年度 当初予算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較 (A-B)	備考
負担金	14,000,000	14,000,000	0	
静岡県	7,000,000	7,000,000	0	
静岡市	7,000,000	7,000,000	0	
繰越金	3,251,988	3,251,988	0	
雑収入	100	111	11	預金利息
補助金返戻金		200,000	200,000	活動補助金未執行分(未確定)
合計	17,252,088	17,452,099	200,011	

(歳出の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和5年度 予算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較 (A-B)	備考
協議会活動経費	2,907,000	2,718,005	188,995	調査、資材、備品購入にかかる経費
謝金	1,399,000	1,346,500	52,500	専門委員等調査謝金、 図鑑作成執筆謝金
使用料及び 賃借料	90,000	33,050	56,950	合同部会・総会会場使用料
役務費	62,000	42,826	19,174	タブレット契約料
需用費	640,000	601,413	38,587	生き物図鑑印刷製本費
備品購入費	716,000	694,216	21,784	草刈り用具設置倉庫費
補助金交付費	1,484,000	1,484,000	0	所属9団体に対する活動補助金
報酬費	483,000	391,000	92,000	協議会委員への報償費
委託費	12,362,700	12,349,700	13,000	1 事務局運営補助委託経費 2 植生調査委託費 3 受付業務補助委託費 4 麻機遊水地フェスタ会場設置 委託費 5 麻機遊水地外来種駆除業務
事務局運営経費	200,000	161,590	38,410	振込手数料、サーバーレンタル料
予備費	15,399	13,300	2,099	
合計	17,452,099	17,117,595	334,504	

※必要に応じて科目間の流用を認める

歳入合計 17,452,099

歳出合計 17,117,595

残額 334,504

令和6年度歳入歳出予算(案)

資料 3

(歳入の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 予算額(B)	比較 (A-B)	備考
負担金	14,000,000	14,000,000	0	
静岡県	7,000,000	7,000,000	0	
静岡市	7,000,000	7,000,000	0	
雑収入	100	100	0	(預金利息)
繰越金	334,504	3,251,988	△ 2,917,484	令和5年度未執行額及び 団体活動補助金戻入金
合計	14,334,604	17,252,088	△ 2,917,484	

(歳出の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 予算額(B)	比較 (A-B)	備考
協議会活動経費	594,000	2,751,000	△ 2,157,000	調査、資材にかかる経費
謝金	219,000	1,399,000	△ 1,180,000	専門委員調査費用等
使用料及び 賃借料	87,000	40,000	47,000	会議室使用料(もくせい会館 を想定)
役務費	40,000	62,000	△ 22,000	通信費
需用費	248,000	800,000	△ 552,000	消耗品
備品購入費	0	450,000	△ 450,000	
補助金交付費	1,308,000	1,484,000	△ 176,000	1団体上限20万円
報酬費	529,000	440,000	89,000	協議会委員への報酬費
委託費	11,369,000	12,363,000	△ 994,000	事務局運営補助委託経費 (パンフ作成費、データ整理費含む) 植生調査委託費 協議会受付補助委託費 麻機遊水地フェスタ会場設営
運営経費	200,000	200,000	0	振込手数料、サーバーレンタル料
予備費	334,604	14,088	320,516	
合計	14,334,604	17,252,088	△ 2,917,484	

※必要に応じて科目間の流用を認める

麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について(案)

麻機遊水地保全活用推進協議会規約における『別表1（第4条、第5条関係）』について、機構改正による組織名の変更のため、規約を一部改正する。

別表1（第4条、第5条関係）改正前

区分	委員
会長	東海大学名誉教授 田中博通
学識経験者	専門委員会の専門委員
地域代表	城北学区自治会連合会会長 竜南学区自治会連合会会長 千代田東学区自治会連合会会長 麻機学区自治会連合会会長 流通センター地区代表
行政機関	静岡県交通基盤部河川砂防局河川海岸整備課長 静岡県静岡土木事務所長 静岡県健康福祉部企画政策課長 静岡市企画局企画課長 静岡市環境局環境共生課長 静岡市保健福祉長寿局健康福祉部障害福祉企画課長 静岡市都市計画部公園整備課長 静岡市建設局土木部河川課長
部会	部会長 副部会長

別表1（第4条、第5条関係）改正後

区分	委員
会長	東海大学名誉教授 田中博通
学識経験者	専門委員会の専門委員
地域代表	城北学区自治会連合会会長 竜南学区自治会連合会会長 千代田東学区自治会連合会会長 麻機学区自治会連合会会長 流通センター地区代表
行政機関	静岡県交通基盤部河川砂防局河川海岸整備課長 静岡県静岡土木事務所長 静岡県健康福祉部企画政策課長 静岡市企画局企画課長 静岡市環境局環境共生課長 静岡市保健福祉長寿局健康福祉部障害福祉企画課長 静岡市都市計画部公園建設管理課長 静岡市建設局土木部河川課長
部会	部会長 副部会長

令和 5 年度取組み報告 および 令和 6 年度取組み計画（案）

1. 取組み報告・計画一覧

（黒字：令和 5 年度から継続、赤字：令和 6 年度新規、青字：令和 6 年度予定なし）

(1) 自然再生部会

	団体	実施内容	工区
1	麻機湿原を保全する会	<ul style="list-style-type: none"> ・保全活動(草刈・パトロール等) ・自然観察会 ・サクラタデ観察会、野点 ・総会 	第 4 工区
2	麻機ウェットランドクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・保全活動(草刈・湿地攪乱等) ・おさんぽ観察会 ・オニバス観察会 ・ミズアオイ観察会 ・カヤネズミ観察会 ・啓蒙活動(遊水地フェスタ・近隣学校との連携) 	第 1、3 工区
3	東海大学水棲環境研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・定点調査(魚類) ・柴揚げ漁への協力 	第 3、4 工区

(2) 地域活性化部会

	団体	実施内容	工区
1	麻機遊水地柴揚げ漁保存会	<ul style="list-style-type: none"> ・柴揚げ漁実施会場の整備 ・柴揚げ漁実演(R5 は雨天中止) ・しずおか川自慢大賞新人賞受賞 	第 3 工区
2	麻機学区自治会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・水田、ハス田、畑の維持管理 ・グランドゴルフ大会 ・どんど焼き ・河津桜の維持管理 ・遊水桜まつり 	第 1 工区
3	あさはた緑地公園愛護会	<ul style="list-style-type: none"> ・あさはた緑地草刈り、ひまわりロード手入れ ・ヒメガマ除去作業、桶橋川右岸草刈り ・河津桜の維持管理 	第 1 工区
4	麻機村塾	<ul style="list-style-type: none"> ・古民具の手入れ、来場者への説明 ・農機具の活用体験(脱穀機他) ・麻機の歴史散歩 	第 1 工区
5	麻機緑地保全活用推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・体験農園の活用体験(もち米田、レンコン田) ・あさはた緑地草刈り、ひまわりロードの手入れ ・河津桜の維持管理 ・どんど焼き ・あさはたふれあい夏祭り 	第 1 工区

(3) ベーテル麻機部会

	団体	実施内容	工区
1	ベーテル麻機部会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉農園、水田を活用した福祉医療施設との連携 ・福祉農園、水田の維持管理 ・福祉農園から四角池にかけての通路の維持管理 ・トイレの清掃・維持管理 ・不耕起播種農法 ・引きこもりの方々の居場所づくりのPR 	第3工区
2	地域の庭を作る会	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防部の除草、花壇整備 	第3工区

(4) 事務局

	項目(行動計画)	実施内容	工区
1	清掃活動の実施・美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 	第1,2,3,4 工区
2	自然博物館、生き物・パネル展示、出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントや施設でのパネル展示 	-
3	広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ維持管理、会報発行 ・パンフレットの印刷・配布・情報更新 ・自然シリーズパンフレット <ul style="list-style-type: none"> - 企画検討 - 印刷・配布 ・遊水地フェスタ 	-
4	保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物駆除(ナガエツルノゲイトウ・オオフサモ) ・火入れ ・植生調査 ・土壌攪乱(3工区) 	第3,4工区
5	民間支援者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自然共生サイトへの登録、支援者マッチング協力 ・地元企業との連携の検討 	-
6	調査データの整理・公表検討	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の生物調査データの整理、公表検討 	-

1-2. 令和5年度(2023年度)取組み写真

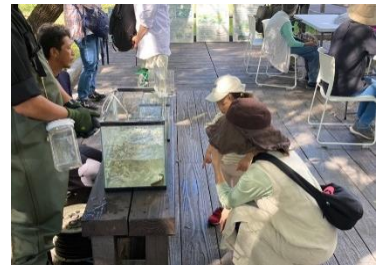
①麻機湿原を保全する会



サクラタデ観察会



ヒメガマを使った水屋



魚類の展示

②麻機ウエットランドクラブ



湿地の攪乱作業



草花あそび体験



ミズアオイの保全(種採り)



秋の植物観察会



草花クラフトWSの開催



カヤネズミ観察会

③麻機遊水地柴揚げ漁保存会



準備(柴入れ)・会場準備

柴揚げ漁は
当日雨天のため中止

柴揚げ漁



しずおか川自慢大賞出場

⑦麻機学区自治会連合会



どんど焼き

ひまわりロード整備

⑤麻機村塾



農機具の手入れ

古民具の説明

昔の遊び体験会

⑥ベータール麻機部会



田植え

水田

稲刈作業

農園作業

農園収穫

絶滅危惧種（ウスゲチョウジタデ）

⑧地域の庭を作る会



堤防花壇の整備

堤防樹木の剪定

堤防の除草

⑨事務局



治水事業の説明



火入れ実験



クリーン作戦



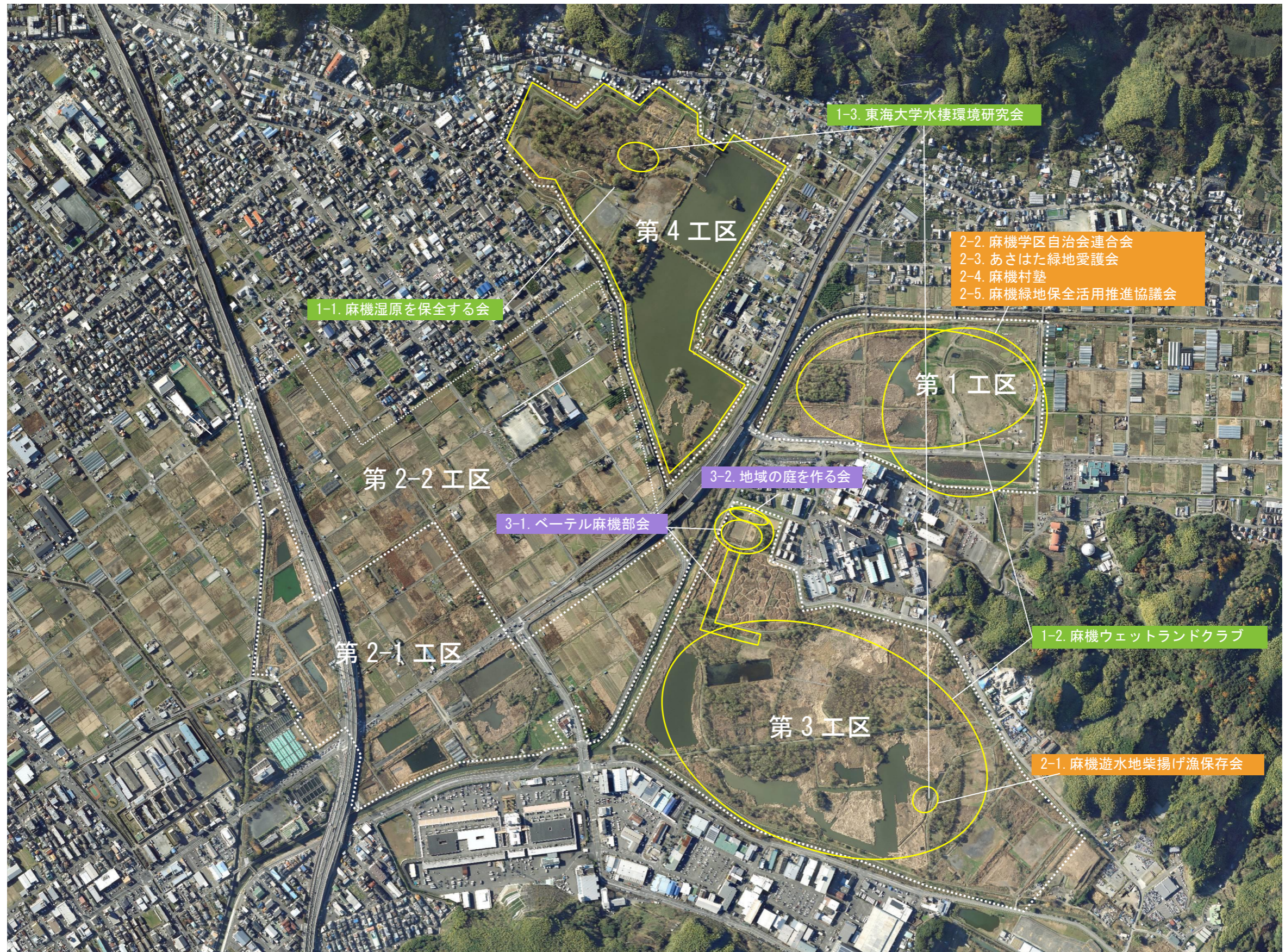
外来生物の駆除



土壌攪乱



自然共生サイトへの認定



麻機遊水地生きもの図鑑の印刷発行について

(1) 印刷・発行時期

年度内に印刷を完了する予定です。2024 年度に発行予定です。

(2) 入手手段

麻機遊水地周辺施設およびホームページ上で申請・入手できるよう検討してまいります。

(3) 金額設定について

金額の設定は、第 16 回総会結果、有識者の意見および印刷製本費等を加味し決定いたしました。

本体金額 800 円

作成している生きもの図鑑は、「**協賛商品**」とし、募金に対する返礼品として扱う予定です。



図 1. 図鑑表紙



図 2. 図鑑内容 (抜粋)

民間企業・団体との連携について

協議会事務局では、麻機遊水地の自然再生・利活用の更なる活性化に向けて、民間企業および団体との連携を模索しており、本事項はその進捗報告となります。

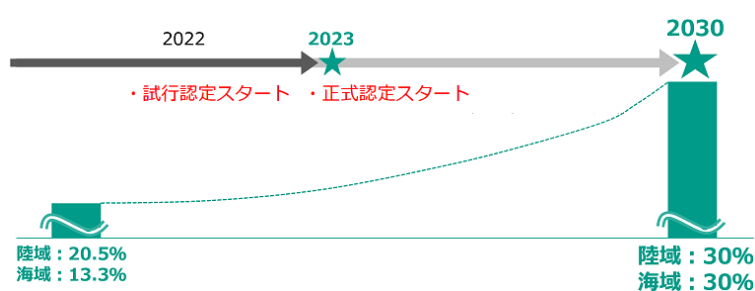
現在、取り組んでいる試みは以下の通りです。

1. 環境省による「自然共生サイトと支援者のマッチング（試行）」への申請結果

環境省による「自然共生サイトと支援希望者とのマッチング」事業（2023年度は試行）に申請した結果、(株)エコプラン研究所、(株)建設環境研究所の2社とマッチングが成立しました。昨年末両者と打合せを行った結果、(株)建設環境研究所より維持管理やモニタリングに係る技術的な助言やアドバイスをいただける旨の回答があり、今後も継続して双方にプラスになる連携を目指し協議を進めていきます。

用語解説：自然共生サイトとは

- ・「民間等の取組により結果的に生物多様性の保全に貢献している区域」と定義されています。
- ・結果的に生物多様性保全に貢献していれば、取り組みの主目的が生物多様性保全であるかそうでないかは問いません。
- ・COP15(2022年12月)で国際目標になった 30 by 30 (2030年までに陸地と海域の30%を自然保全の場にする目標) の達成につながります。
- ・「自然共生サイト」へ支援をすることで企業価値の向上やその他経済的利益につながる仕組みづくりを環境省が検討中（例：支援者マッチング事業（試行））。



2. 静岡県内・市内の民間企業との連携・支援体制の構築

静岡県本庁等と協力し、県内および市内の民間企業・団体から、連携・支援希望者を募ることを検討しています。支援証明書の発行など支援者にもプラスとなるような制度の実現に向けて、検討および協議を進めています。

次年度に、会員企業の皆様向けにご案内する機会を設ける予定です。ご興味・ご質問等がございましたら、事務局までお問い合わせください。

令和 6 年度の遊水地フェスタについて

本年度は、5年ぶりとなる第8回遊水地フェスタを開催し、約500人の方にご来場いただきました。アンケートによると、参加者の半数以上が遊水地に初めて訪れ、8割以上がまた訪れたいと感じており、遊水地の魅力発信として効果的だったと考えられます。この結果を踏まえ、事務局では令和6年度も遊水地フェスタの開催を考えております。

1. 遊水地フェスタの趣旨

遊水地を含む麻機地域の魅力発信を目的に実施しています。

麻機遊水地で活動している団体、周辺施設、企業、お店をメインに出展をし、麻機の魅力や取組み、治水効果などについて楽しみながら知っていただくイベントです。

2. 遊水地フェスタ実行委員会について

遊水地フェスタの実施に向けて「令和6年度遊水地フェスタ実行委員会」を組織し、例年どおり実行委員会で内容を決めていきます。

実行委員会への参加は、基本は協議会会員としますが、会員以外でも協議会の趣旨（麻機の自然環境の保全と活用）に賛同いただける方であれば参加可能とします。募集は協議会 HP 上で行うほか、協議会会員へお声かけをさせていただきます。

3. 遊水地フェスタ出展者募集について

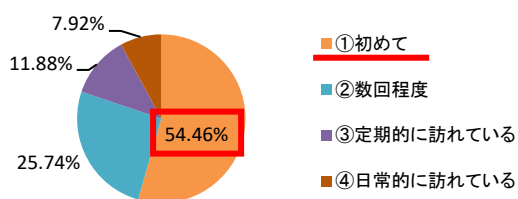
遊水地フェスタ当日の出展希望者を募集します。以下のような方を想定しています。

- ・麻機で自然再生、利活用に関わる取組みを行っている方
- ・麻機遊水地近辺で事業・お店をやっている方
- ・麻機地域に所縁のある方
- ・麻機でイベントを行っている方

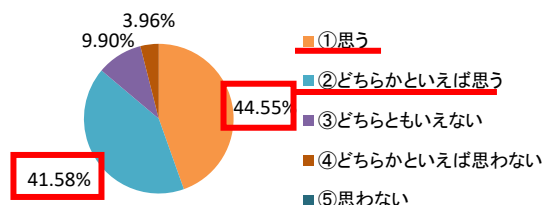
募集は協議会 HP 上で募集を行うほか、会員へのお声かけをさせていただきます。

【参考：第8回遊水地フェスタアンケート結果（抜粋）】

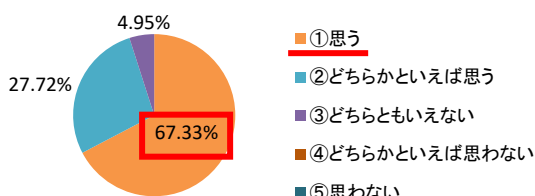
問. いままでに麻機遊水地に来たことがありますか



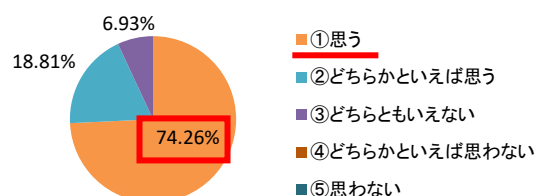
問. また遊水地を訪れたいですか



問. 他の遊水地のイベントにも参加してみたいですか



問. 麻機遊水地の自然や歴史文化、治水事業について知ることができましたか



2023年 第8回 麻機遊水地フェスタ 開催結果概要

第8回麻機遊水地フェスタは、新型コロナウイルスに関する社会情勢が変化したことを踏まえ、5年ぶりに開催致しました。会場をヘリポート側の一部に集約し、20の体験、展示、飲食の様々なブースを出展しました。天候にも恵まれ、約500人の来場者がイベントを楽しんでいました。また親子連れが多く、カヌーに乗船するなど楽しむ様子が見られました。来場者を対象にアンケート調査を実施したところ、約7割の方から「楽しかった」、「遊水地の他のイベントにも参加してみたい」という回答をいただきました。今回のフェスタは多くの企業・団体の皆様にご協力いただき開催することができました。ありがとうございました。



来場者数 約 500 人



遊水地産の野菜配布
(ベーター麻機部会)



あさはた緑地紹介ブース
(あさはた緑地公園)



運動診断ブース
(ふれあい健康増進館ゆらら)



治水についてのパネル展示
(静岡県静岡土木事務所)



地元野菜・流木の販売
(麻機学区自治会)



高所作業車体験
(文化シャッター㈱)



働く重機とふれあおう
(㈱アースシフト)



ドローン展示・VR 飛行体験
(㈱アースシフト)



ネイチャークラフト体験
(環境アセスメント協会)



帽子ブローチのクラフト
(麻機学区自治会)



青空ステージ
(北龍太鼓)



青空ステージ
(麻機太鼓)



青空ステージ
(静岡女子高和太鼓部)



青空ステージ
(静岡高等学校吹奏楽団)



焼き菓子、飲み物などの販売
(社会福祉法人愛誠会)



お弁当・お惣菜の販売
(松のや)



駄菓子・手作り味噌の販売
(麻機学区自治会)



柴揚げ漁実演(柴入れ)
(麻機柴揚げ漁保存会・東海大学水棲生物研究会)



カヌー体験
(服部エンジニア㈱、㈱古川組、しずおか流域ネットワーク)



麻機の歴史文化紹介
(麻機村塾)



遊水地の鳥・昆虫の写真展
(麻機遊水地保全活用推進協議会 専門委員)



植物の展示・紹介
(麻機ウェットランドクラブ)



遊水地の魚類展示
(東海大学水棲環境研究会)



体験したものを見せ合う
子供たち

調査データ等の公開について

協議会でこれまで蓄積された調査データ等について、一般公開することを検討しております。皆様の活動にご活用いただけるよう努めてまいります。またお手持ちのデータ等があれば、ご提供いただけると幸いです。

これまでの協議会の活動の中で蓄積された様々な調査データを一般公開することを検討しています。多くの皆様に活用していただけるよう努めてまいります。またお手持ちに公開したい情報などがあればご相談いただけると幸いです。

< 活用イメージ（例） >

○ 自然再生や利活用の取組みの促進

- ・ 植生調査で得られた植生分布図を参考に、特定外来生物駆除を計画する。

○ 活動の内容や効果を説明する

- ・ 活動の記録（確認生物種数、イベント概要、参加人数など）を公開して、活動の内容や効果の説明資料にする。

1. 公開方法の基本方針

- 1-1. 『自然環境調査に係る生物多様性情報の整備と発信のガイドライン』（環境省 2023）を参考に公開方法を整備する。



ガイドラインの詳細はこちら⇒

- 1-2. 公開はインターネット上で行う。

2. 留意事項

2-1. 希少種の情報

盗掘等を防止するため、希少種の詳細な位置が把握できるデータは公開しない。

2-2. データの権利

データ提供者の権利を守るため、適切なライセンスを検討する（例：CC ライセンス）。

2-3. フォーマット

公開フォーマットは、「活用のしやすさ」と「公開のしやすさ」に留意して設定する。

【参考：CC ライセンス (Creative Commons) とは】

CC ライセンス (Creative Commons) とは、インターネット時代のための新しい著作権ルールで、データを公開する作者が「この条件を守れば私のデータを自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。



CC ライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができます。

麻機遊水地保全活用行動計画 第 3 期実施計画について

(1) 第 2 期実施計画 総評

まとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス禍の影響で活動を十分にできなかった期間もあったが、現在は各取組みの再開が見られ、多くの項目の実施継続が実現されていた。 ・ あさはた緑地公園の供用開始により、あさはた緑地公園を中心とした取組みの実施や連携が見られるようになった。

第 2 期実施計画は 2019 年度～2023 年度の 5 年間に適用された。うち 2020 年度～2022 年度は新型コロナウイルス禍の影響によって観察会などの人を集めるイベントや複数主体の連携事業などで中断、規模縮小が見られた。

その一方で、保全活動や維持管理活動など、少人数や密を回避できる項目は中断することなく実施され、新型コロナウイルス禍の影響が弱まった 2022 年後半から 2023 年にかけて、自粛していた各取組みの再開が見られるようになった。その結果、行動計画の実施事項の多くが実施継続されている。

また、2021 年度から供用開始されたあさはた緑地公園が拠点となり、新たな取組みの実施や指定管理者を交えた取組み連携、情報共有のきっかけとなっている。

(2) 第 3 期実施計画における変更内容

基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 期実施計画のうち、現時点で実施されている項目は継続的な実施を目指す。 ・ 実施されていない項目は、実施できるように方法や体制の検討を行う（既に実施困難となったものは中止する）。 ・ 第 2 期実施計画期間で新たに始まった取組みは、項目に新規追加し継続を目指す。 ・ 社会情勢や遊水地の環境の変化によって必要となった取組みは、項目に新規追加する。

変更内容一覧 (1/2)	
項目	備考
新規	データの公開によって、各取組みへの活用や新規参加者への説明に利用できるようにする
新規	植生調査によって治水や環境などに大きな悪影響を与えるナガエツルノゲイトウ等の分布が拡大していることが明らかになった。 遊水地の機能や生態系を保全するため根絶ないし低密度管理を目指す。

変更内容一覧(2/2)		
	項目	備考
	サイン計画	ルール作成後、関係機関との調整で 2020 年度より計画が止まっている。 サイン設置実現に向けた調整の他、別のルール周知の方法の検討を行う。
	自然共生サイト制度の活用	2023 年に認定を受けた自然共生サイトの制度の活用を進める。
	民間企業との連携	民間企業との連携により、人手不足、資金不足、発信力不足の解消に努める。
	古民具の解説・体験	あさはた緑地公園の「あさはた納屋」の整備により、古民具や農具、歴史資料を常設できるようになった。 「あさはた納屋」を拠点とし、地元の歴史の紹介や道具の解説や体験を実施する。
	堆積土砂の除去	航空写真によるモニタリングから、堆積土砂による開放水面の減少が確認された。 モニタリング結果を参考に堆積土砂の除去を実施し、開放水面の確保を目指す。
検討	医療福祉向け観察会	第 2 期実施計画期間で実施されていない。 新型コロナウイルス禍が落ち着いたことを踏まえ、医療福祉施設との連携を改めて模索する必要がある。
	簡易水質調査	第 1 期実施計画から実施されていない。 実現には実施体制の構築が必要である。
	水質調査・分析	第 1 期実施計画から実施されていない。 実現には実施体制の構築が必要である。
	湿地攪乱 2 (第 3 工区)	人手不足。担い手の加入、育成方法について検討が必要である。
	オニバスの保全 (第 3 工区)	知見および人手不足。オニバスの保全手法、および担い手の加入、育成方法について検討が必要である。
	ヨシの活用	2017 年度の座談会以降実施なし。 カヤ利用者との連携が必要である。
中止	ソバの栽培	2018 年度から実施なし。 実施者の不在。
	ソバ打ち	2018 年度から実施なし。 実施者の不在。
	夜の昆虫観察会	2022 年を持って終了。実施者の引退。

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表 (第3期実施計画)

実施計画	第1期実施計画			第2期実施計画			第3期実施計画			備考	
	遊水地の出来事			あさはた緑地 全面供用開始 第2工区の一部供用開始 (加藤島・立石・安東川)			第3工区 浅畑緑地整備 (計画検討)				
その他できごと	新型コロナウイルス禍										
行動計画実施項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	【色凡例】 新規 検討 継続 中止
生物・植物調査(野鳥・昆虫類・哺乳類・植物)				現況調査 (データの蓄積)				現況調査 (データの蓄積)			続 調査 新 データ公開
外来植物の駆除	外来種調査				外来種調査				外来種調査		続 外来種調査 新 特定外来植物の駆除
ミシシippアカミミガメ、外来魚の駆除	カメ類捕獲		カメ類捕獲		カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	続 カメ類捕獲
自然観察園、自然観察コースの整備、管理 (パンフレット等)	パンフレット 企画検討	パンフレット 印刷・配布							パンフレット 印刷・配布		続 パンフレット印刷・配布
			生きもの図鑑 企画検討		生きもの図鑑 作成				生きもの図鑑 印刷・配布		続 生きもの図鑑印刷・配布
自然博物館、生きもの・パネル展示、出前講座			各種イベントや各施設にて実施					各種イベントや各施設にて実施			続 パネル展示・出前講座
利用に関するルールづくりとその周知		ルール作成	ルール					サイン計画・設置			続 サイン計画
清掃活動	クリーン 作戦	クリーン 作戦	クリーン 作戦		クリーン 作戦	クリーン 作戦	クリーン 作戦	クリーン 作戦	クリーン 作戦	クリーン 作戦	続 クリーン作戦
たい肥づくり				たい肥づくり				たい肥づくり			続 たい肥づくり
6次産業化								6次産業製品の開発			検 6次産業化
竹灯籠づくり、展示	イベントでの展示	イベントでの展示	イベントでの展示					イベントでの展示	イベントでの展示	イベントでの展示	続 竹灯籠づくり・展示
関係機関との連携			各取り組みの中で実施					各取り組みの中で実施			続 関係機関との連携 新 自然共生サイト制度の活用 新 民間企業との連携
						自然共生サイト 試行参加・正式認定	自然共生サイト マッチング試行				
						民間企業との 連携の模索	民間企業との 連携				
広報活動			ホームページ維持管理・会報作成					ホームページ維持管理・会報作成			続 ホームページ・会報

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画		第1期実施計画			第2期実施計画			第3期実施計画			備考		
遊水地の出来事					あさはた緑地 全面供用開始 第2工区の一部供用開始 (加藤島・立石・安東川)			第3工区 浅畑緑地整備 (計画検討)					
その他できごと					新型コロナウイルス禍								
行動計画実施項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	【色凡例】 新規 検討 継続 中止	
第1工区	オニバスの保全				保全活動			保全活動			続 オニバスの保全		
	ハスの保全	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	続 ハスの保全	
	自然観察会と今後を担う人材の育成	オニバス観察会 生きもの観察会	生きもの観察会	生きもの観察会	生きもの観察会	秋の植物観察会	秋の生きもの観察会	秋の草花観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	続 観察会の実施	
	医療福祉向け観察会				おさんぼ観察会			医療福祉向け観察会			続 医療福祉向け観察会		
	埋土種子実験と埋土種子の里帰り							埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験	続 埋土種子実験
	水田の維持管理・利用				水田・ハス田の維持管理			水田・ハス田の維持管理・活用	水田・ハス田の維持管理・活用			続 水田の維持管理・活用	
	風俗・風習の継承	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	続 どんど焼き 新 古民具の解説・体験
	清掃活動							除草作業見回り	除草作業見回り			続 除草・見回り	
	周囲堤の美化活動				河津桜の維持管理			河津桜の維持管理	河津桜の維持管理	河津桜の維持管理	河津桜の維持管理	河津桜の維持管理	続 花壇整備 続 河津桜の維持管理
	各種イベント				遊水桜まつり			遊水桜まつり	遊水桜まつり	遊水桜まつり	遊水桜まつり	遊水桜まつり	続 遊水桜まつり 続 ハス七夕まつり
第2工区	表土保全				表土移植域外保全			表土移植域外保全	表土移植域外保全	表土移植域外保全	表土移植域外保全	続 表土保全	

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画	第1期実施計画			第2期実施計画				第3期実施計画			備考
	遊水地の出来事			あさはた緑地 全面供用開始 第2工区の一部供用開始 (加藤島・立石・安東川)				第3工区 浅畑緑地整備 (計画検討)			
その他できごと	新型コロナウイルス禍										
行動計画実施項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	【色凡例】 新規 検討 継続 中止
水位調査と適正な開放水面の確保				水位観測 (静岡県SIPOSレーダー)				水位観測 (静岡県SIPOSレーダー)			続 水位観測
			航空写真によるモニタリング					航空写真によるモニタリング			続 航空写真によるモニタリング
						堆積土砂の除去			堆積土砂の除去		新 堆積土砂の除去
水質調査								簡易調査	簡易調査	簡易調査	検 簡易水質調査
								水質調査・分析			検 水質調査・分析
水質改善実験小池の外来魚駆除実験	池の水抜き	池の水抜き									検 池の水抜き
湿地の攪乱 1	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	続 湿地攪乱 (土壌攪乱)
湿地の攪乱 2								湿地の攪乱			検 湿地攪乱 (草刈り等)
火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験		火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	続 火入れ実験
埋土種子実験と埋土種子の里帰り	埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験								続 埋土種子実験 (第1工区へ)
オニバスの保全								保全手法の検討			検 オニバスの保全
								保全活動			
自然観察会と今後を担う人材の育成	ミズアオイ観察会	ミズアオイ観察会	ミズアオイ観察会	ミズアオイ観察会				観察会の実施			続 観察会の実施
		オニバス観察会	オニバス観察会	オニバス観察会							
医療福祉向け観察会		おさんぽ観察会						散策観察会の実施			検 医療福祉向け観察会
水田の維持管理・利用				水田の維持管理 福祉・地域連携での活用				水田の維持管理 福祉・地域連携での活用			続 水田の維持管理・活用 (ペーテル農園)

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画	第1期実施計画		第2期実施計画					第3期実施計画				備考
	遊水地の出来事		あさはた緑地 全面供用開始 第2工区の一部供用開始 (加藤島・立石・安東川)					第3工区 浅畑緑地整備(計画検討)				
	その他できごと		新型コロナウイルス禍									
行動計画実施項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	【色凡例】 新規 検討 継続 中止	
第3工区	風俗・風習の継承	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	続 柴揚げ漁
	周囲堤の美化活動	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	続 周囲堤の美化活動 止 ソバの栽培
	ヨシの活用	座談会							カヤ利用者との連携強化			検 ヨシの活用
	各種イベント	フェスタ ソバ打ち	フェスタ ソバ打ち	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	続 遊水地フェスタ 止 ソバ打ち
第4工区	湿地の攪乱2	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	続 湿地攪乱 (草刈り等)
	オニバスの保全	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	続 オニバスの保全
	自然観察会と今後を担う人材の育成	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	夜の昆虫 サクラタデ	止 夜の昆虫観察会 続 サクラタデ観察会
別途事業	雑木の間引き				樹木の間引き					樹木の間引き		続 樹木の間引き
	施設の改修						トイレの整備		企画検討			続 施設の改修
	自然観察園、自然観察コースの整備、管理						堤防天端の 舗装整備		企画検討			続 自然観察園、コース整備、管理

第 1 工区「あさはた緑地交流広場」近況報告

あさはた緑地管理事務所
所長 木下 聡

令和 3 年 4 月 1 日にオープンしたあさはた緑地は、開園からまもなく丸 3 年目を迎え、おかげさまで少しずつ認知度も上がり、各種イベントも定着してきました。

§ 環境教育・ESD 実践動画 100 選に選ばれました！

環境省が教育現場などで活動する方々のヒントになるような優良実践事例を募集、選定して発信している事業で、昨年夏の募集に応募し、選定いただきました。

毎年夏に実施している「自然あそび教室」を取り上げました	実践動画紹介サイト
	 <p>あさはた緑地応募動画</p> 

§ 第 4 回グリーンインフラ大賞「優秀賞」を受賞しました！

国交省が主催する、自然環境が持つ機能をインフラとして捉えて社会課題の解決につなげている事例を表彰している賞。

あさはた緑地が有する防災機能、湿地の生態系保全、公園という 3 要素がそれぞれに相乗効果を生んでいる点や、それを市民の方々と一緒に進めている点などをアピールし、「優秀賞」に選定いただきました。

国交省報道発表サイト


§ あさはた緑地サポーター

2023年3月から公園ボランティアの活動を本格的に始めました。

これまでに60名以上の方が登録して下さっており、環境学習に参加する児童の保護者を中心とした「キツネノボタン」というチームによる水辺整備の活動があったり、農園エリアでは年間を通じて「田んぼのあそび場」活動として田植えから、稲刈り、そしてできた餅米を食べる餅つき大会までを一緒に行ったり、各種イベントのスタッフなどとしても活躍していただいています。

水辺整備ボランティア「キツネノボタン」	稲刈り（田んぼのあそび場活動）
	

§ 地域連携

2023年度は開園以来続いたコロナ禍が終息したことで、イベントも増え、交流も進んで地域連携も一層広がりました。

地域のふれあい夏祭りが麻機小学校から会場を替えて実施されましたし、冬はJAの3地域合同の農業祭の会場として活用いただきました。

また、農園エリアでは麻機小学校の児童が地域を学ぶ授業の一環でれんこん畑の除草と収穫を手伝ってくれたり、静岡北特別支援学校では採れたれんこんを「ふるさと給食」で使っていただきました。

麻小3年生によるれんこん畑の除草作業	あさはた緑地で育てたれんこんの納品
	